

科目区分	専門分野	履修学年	2年後期	単位数	1	時間数	30
科目名	精神看護方法Ⅱ			担当教員	専任教員		
使用テキスト	1) メディカ出版 精神看護学 ①情緒発達と精神看護の基本 2) メディカ出版 精神看護学 ②精神障害と看護の基本						
テキスト以外の教材・参考書等	1) 医学書院 系統看護学講座 専門分野 精神看護の基礎<1><2> 2) 医学書院 系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 3) 南江堂 精神看護学Ⅰ 精神保健・多職種のつながり ころ・からだ・かかわりのプラクティス 4) メヂカルフレンド社 新体系 看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論/精神保健						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>本科目では以下の 2 つを科目の柱とし実践（精神看護学実習）にむけ、精神看護学の基礎的知識と技術を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者－看護師関係の成立・発展について学びコミュニケーション技術を理解する。 ・事例を用いてアセスメント・看護介入を理解する。 <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者－看護師関係の成立、発展について理解できる。 2. 再構成の実践を通し、自己洞察、他者理解の意義を理解する。 3. セルフケアの援助について理解できる。 4. 生きる力と強さに着目した援助について理解できる。(ストレングス、リカバリ、エンパワメント) 5. 精神の健康増進、回復の援助方法を理解できる(SST、心理教育) 6. セルフケアの援助について理解できる。(オレム・アンダーウッド看護モデル) 7. 事例を用いて看護展開が理解できる。 							
評価方法	筆記試験 レポート提出 グループワークの参加状況など						
備考	関連科目：心理学,カウンセリング,薬理学,関係法規,社会福祉,社会保障 家族社会学,地域の健康と社会生活,看護の基本となる技術,在宅看護論 精神看護学概論,精神看護方法Ⅰ						

回数	授業計画	備考
1	精神看護におけるコミュニケーション技術	講義
2	コミュニケーションの原則	演習
3	コミュニケーションの技法	
4	再構成とプロセスレコード	講義
5	自己洞察の意義 プロセスレコードの目的、方法 プロセスレコード検討会	演習
6	生きる強さに着目した援助について ストレングス リカバリ エンパワメント	講義
7	SSTについて SSTの目的、対象 SSTの実際	講義 演習
8	心理教育について 心理教育とは 心理教育の対象 心理教育の実際	講義
9	看護過程の展開	講義
10	オレム・アンダーウッド看護モデルについて	演習
11	事例展開	
12		
13		
14		
15	終講試験 まとめ解説	